

教科	発行所	書名	採択理由
国語	教育出版	伝え合う言葉 中学国語	主体的に、見直しをもって学習に取り組めるよう、何をどのように学ぶのか各教材や活動に合わせて具体的に示した「学びナビ」が設けられている。また、学習指導要領に沿った学習のプロセスが示されており、生徒が自らの学習過程を自覚できるようになっている。さらに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材を中心に、他教科とのつながりや学習したことの生かし方を感じさせられるようになっており、学んだことが実生活へと生かすことができる。
	三省堂	現代の書写一・二・三	学んだことが定着するように、硬筆で繰り返し練習するページが設けられている。また、見直しをもって学習に取り組めるよう、各教材が、何をどのように学ぶのかが一目で分かる見開き2ページで構成されている。さらに、高等学校芸術家書道へ接続できるように、「篆刻」に関する内容を紹介している。
社会	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	学習対象地域の特色を自らまとめられるよう、「学習を振り返ろう」で、図でまとめ、考え、特色をまとめるという三つの活動を設定している。また、資料から必要な情報を読み取る技能を高められるよう、「資料活用」マークで、着目するポイントを示している。その他にも、地図や統計資料を活用した学習に取り組めるよう、「技能をみがく」や「地図帳活用」で、地図帳の活用例を示している。
	東京書籍	新編 新しい社会 歴史	課題解決的な学習に取り組めるよう、巻頭および各章の冒頭で、章や節、単位時間の関係性や学び方を構造的に示している。また、情報を整理・分析して考える力を身に付けられるよう、章末の「確かめよう」で、思考ツールの紹介や学習内容をまとめる活動の例示がある。その他にも、日本と各国の関係性に着目し、歴史上のかかわりに気付けるよう、章末の年表で、「政治」「経済・社会・文化」「東アジア」「欧米」などの視点で事象を分類して示している。
	東京書籍	新編 新しい社会 公民	課題解決的な学習の進め方を捉えられるよう、巻頭で、章を貫く問いや節を貫く問い、本時の学習問題の3種の問いの構造を説明している。また、資料を基に自分の考えを表現する力が養われるよう、「みんなでチャレンジ」で、グループで話し合っ解決する課題や活動を紹介している。その他にも、被災関係者への配慮の視点から、火山の噴火や地震、津波、土砂崩れ等の写真を扱っているページの目次に「*」マークを付けている。
	帝国書院	中学校社会科地図	複数の地図や資料を活用しながら課題解決的な学習ができるよう、「主題学習」で、見開きページで考える課題を設定している。また、地図から読み取った情報を基に議論する学習に取り組めるよう、各ページに言語活動につながる問いを示している。その他にも、作業を通して地域の理解を深められるよう、統計のデータを地図上にグラフ化する「地域見える化ジオグラフ」へのリンクを掲載している。
数学	東京書籍	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	節、単位時間ごとに「Q考えてみよう」という項目があり、解決方法や結果の予想を促す問いかけを示している。日常と数学をつなげながら考えることができるよう、章末や教科書の巻末には、日常に関する場面にこれまで学んだことを使って解決する問題が設定されている。数学の授業で大切にされている統合的・発展的な考え方に基づいて学習を進めていけるよう、「同じように考えると」「それなら」などのつづやきとともに問題が掲載されている。
理科	学校図書	中学校 科学	「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて、単元の冒頭に資質・能力ごとの目標が示されており、特に思考力・判断力・表現力等の育成に向けた学習過程になっている。また、巻末資料で科学的な事象に関する資料やコラムを提示しているため、学習内容を日常生活と関連付けて理解したり、新たな疑問を抱いたりできるようになっている。さらに、基本的な実験技能を身に付けることができるよう、巻末の「基本操作」で器具を扱うポイントや注意点を示している。
音楽	教育芸術社	中学生の音楽	生徒が見直しをもって主体的・協働的に学習できるよう、「学びのコンパス」で、知覚したものと感受したことの関わりを考え工夫したり味わたりするコーナーを設けている。1年間の学習を振り返り、自身と音楽との関わりについて考えられるよう、曲のよさをプレゼンテーションする題材を設定している。また、生徒が見直しをもって課題解決的な学習に取り組めるように、創作教材において「課題や条件」が具体的に示されている。社会の中での音楽の役割について考えを深められるよう、「生活や社会の中の音や音楽」が設定され、役割や仕事、人とのつながりについて考えられるような音楽活動を紹介している。
	教育芸術社	中学生の器楽	自分たちの表現を他者と協働しながら見直せるよう、「学びのコンパス」で、パートの役割や響きの重なりを確かめる活動を設定している。楽器の音色や響きを知覚・感受できるよう、各楽器の学習の導入で、演奏を聴く鑑賞活動を設定している。技能の習熟度に応じて必要な情報を選択して活用できるよう、各楽器の基本的な奏法や説明を確認できる構成にしている。世界の音楽に親しみ、音楽の多様性に気付けるよう、複数の地域の民族音楽や楽器の演奏法を掲載している。
美術	光村図書	美術1 美術2・3	どのように構想や制作を行えばよいか見直しをもつことができるよう、「みんなの工夫」において、参考作品を制作した生徒の試行錯誤の様子や制作過程を示している。多様な表現方法に触れ、自己の表現の幅を広げることができるよう、様々な参考作品画像や、技法に関する動画などにアクセスできる二次元コードが掲載されている。学年を問わず必要に応じて知識を活用できるよう、別冊「資料」に様々な知識や技法など共通事項に関わる内容が記載されている。
保健体育	東京書籍	新編 新しい保健体育	自身の健康や生活の問題を捉えられるよう、課題に気付くために複数の資料を提示している。ICT機器を使って学習を深められるよう、各章の学習内容の関連動画や資料等のデジタルコンテンツにつながる二次元コードが掲載されており、学習を広げることができる。健康や安全に関するスキルを取り上げた「巻末スキルブック」をまとめて選定することで、実習の際に活用したり、必要に応じて確認し適切な方法を理解したりできるようにしている。
技術家庭	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	問題解決の過程に沿って学習を進められるように、それぞれの過程における具体的な活動例を示している。問題解決例として「便利」「安全」「健康」「福祉」「防犯」「減災・防災」「省資源・省エネルギー」「地域の課題」「SDGs」などのテーマに沿った例が多数挙げられている。これまでの学習を踏まえ、技術を結び付けて問題解決に取り組めるよう、「統合的な問題解決」で、複数の実習例を選定している。生徒が取り組む問題解決例などに応じて、いつでも確認することができる動画やシミュレーションなどのQRコンテンツを示している。
	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	問題を解決する道筋を分かりやすく理解することができるよう、具体例を用いて学習の流れを六つのプロセスで示している。各題材で身に付けた資質・能力を自覚できるように、学習前後の自己評価を記録に残す特設ページ「自分の生活チェック」を設けている。表現力を伸ばすことができるように、ICT機器を活用したまとめや発表の実践例、手書きのレポート例を示している。また、生活の課題と実践の取組につながるよう、各編末の学習のまとめで、学習を通じた気付きや新たな問題発見を記述する欄を設けている。
英語	三省堂	NEW CROWN English Series	各Unitの「Goal Activity」とは別に、複数のUnitで身に付けた力を統合的に生かす「Project」が設定されている。また、他教科で学んだことを取り上げることで、教科横断的な学びを提供している。見直しをもって生徒が学習を進めることができるよう、各Unitごとに「Goal Activity」が示されている。生徒が英語を使う必要感をもって学習に取り組むことができるよう、コミュニケーションの目的、場面、状況等が明確に示されている。
道徳	東京書籍	新編 新しい道徳	他者との関りを通して自分の考えを広げたり、深めたりできるように、「探究の対話「p4c」」で学校での対話の方法を示している。道徳的判断力を高められるよう、登場人物の葛藤場面を扱った教材で、二つの立場の考えを基に考え、議論する活動を設定している。現代的な諸課題について、多様性の視点から社会を考えられるよう、セクシャル・マイノリティや障がいのある人等を扱った教材での学習を設定している。多面的・多角的に考えられるよう、「Plus」で、ソーシャルスキルや探究的な対話、役割演技等の活動を扱っている。